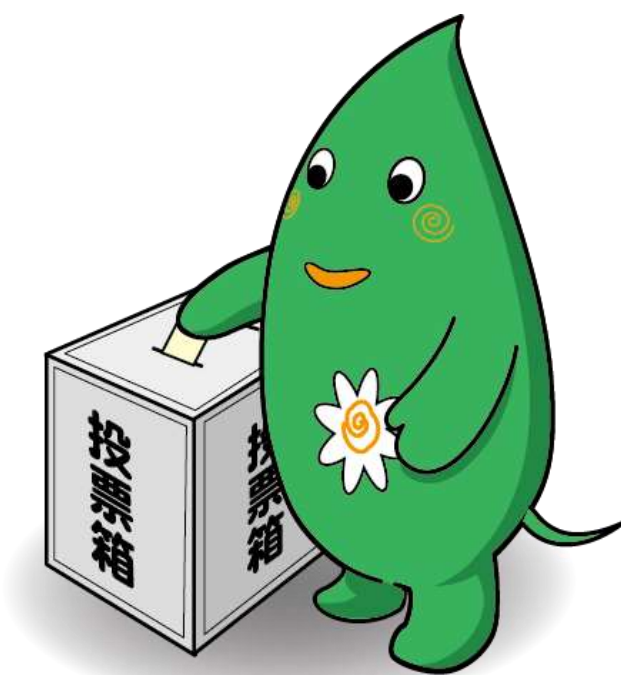


令和5年度

政治と選挙の意識調査



大和市イベントキャラクター「ヤマトン」

大和市明るい選挙推進協議会
大和市選挙管理委員会

◆◆ はじめに ◆◆

この調査は、大和市の有権者の皆様の政治に対する関心や意見、選挙に対する意識や行動、政治教育に対するニーズなどを把握することを目的としており、毎年度、市内の有権者を対象とした意識調査を実施しています。

昨年は、4月9日に神奈川県議会議員及び神奈川県知事選挙、4月23日に大和市議会議員及び大和市長選挙が執行されました。今回の選挙においても、コロナ禍での選挙となることから、投票所及び開票所内でのアルコール消毒や換気等の感染症対策に努めた結果、無事に選挙を執行することができました。

今回の本市においての投票率は、下表のような結果になりました。

選挙の種類 投票率	県知事	県議会 議員	市長	市議会 議員
前回投票率	38.01%	37.95%	38.40%	38.41%
今回投票率	38.52%	38.50%	39.93%	39.93%
増減	0.51%増	0.55%増	1.53%増	1.52%増

投票率全体においても、大和市議・市長選挙では、前回は1.53ポイントと1.52ポイント上回る39.93%という結果になりました。

また、近年増加傾向にある期日前投票者数は同選挙比較で大和市議・市長選挙は前回の1.19倍となりました。

この結果を受け、今回の調査は、投票の有無やその理由など具体的な質問を設けて、市内在住の1,000人の有権者を対象として実施いたしました。

なお、調査結果は、私どもが今後の啓発活動を効果的に行っていくための貴重な資料として役立たせていただきます。この調査を通して有権者の皆さんが政治や選挙への興味と関心をさらに高めていただくきっかけや参考となれば幸いに存じます。

最後に大和市明るい選挙推進協議会及び大和市選挙管理委員会は、市民の皆様へ政治と選挙に関心をもってもらい、投票していただけるよう、今後の啓発活動に取り組んでまいります。

令和6年2月

大和市明るい選挙推進協議会
大和市選挙管理委員会

目 次

1	調査の概要	1
2	回答者の構成	2
3	調査結果	4
	（1）生活・政治に関する意識	4
	問 1 生活の満足度	4
	問 2 国政への満足度	5
	問 3 国政への関心度	6
	問 4 支持する政党の有無	7
	（2）選挙時の投票行動に関する意識	8
	問 5 投票の有無	8
	問 5 の 1 投票に行った理由	9
	問 5 の 2 投票の際役に立った媒体	10
	問 5 の 3 投票へ行かなかった理由	11
	問 6 投票率向上の対策	12
	問 7 期日前投票制度の認知度	14
	（3）外国人の参政権に対する意識	15
	問 8 選挙権に対する意識	15
	問 9 被選挙権に対する意識	16
	（4）国民投票制度に対する意識	17
	問 10 国民投票制度の認知度	17
	（5）意見・感想の集計	18
4	調査票	19
5	資料	21
	（1）衆議院小選挙区選出議員選挙投票率の推移（大和市）	21
	（2）参議院神奈川県選出議員選挙投票率の推移（大和市）	21
	（3）神奈川県知事選挙投票率の推移（大和市）	22
	（4）神奈川県議会議員選挙投票率の推移（大和市）	22
	（5）大和市長選挙投票率の推移	23
	（6）大和市議会議員選挙投票率の推移	23

1 調査の概要

1 調査の目的

選挙において投票する際には、普段から政治について知識と関心を持ち、さらに「投票」という有権者としての意思表示に参加する意欲を持つことが必要です。この参加意欲の向上を図るために、選挙啓発活動は重要な役割を担っています。

有権者の政治や選挙に対する意識は、年代や性別などによりさまざまですが、その違いを的確に把握することで、より効果的な選挙啓発活動を行うことが可能となります。

今回の調査は、有権者の生活や政治に関する意識のほか、選挙時の投票行動について調査したものであり、今後の選挙啓発活動に役立てるための資料とするものです。

2 調査の方法

- (1) 調査対象者：市内に居住する満18歳以上の男女
- (2) 調査対象者数：1,000人（男性499人 女性501人）
 - ① 20歳以上の有権者から800人（男性395人 女性405人）
 - ② 19歳の有権者から100人（男性52人 女性48人）
 - ③ 18歳の有権者から100人（男性52人 女性48人）
- (3) 抽出方法：選挙人名簿から無作為に抽出
- (4) 調査方法：郵便調査法（回答も郵便による）

3 調査した事項（19・20ページ調査票参照）

- (1) 生活・政治に関する意識
- (2) 選挙時の投票行動に関する意識
- (3) 外国人の参政権に関する意識
- (4) 国民投票制度に対する意識 ほか

4 調査の実施時期

令和5年11月9日発送（令和5年11月30日締切）

5 調査票の回収数・回収率

342枚・34.2%

6 調査結果の集計

大和市選挙管理委員会のPCにより集計

※端数処理の関係で100%にならない場合があります。

7 調査結果の分析

大和市明るい選挙推進協議会及び大和市選挙管理委員会

8 調査の実施主体

大和市明るい選挙推進協議会及び大和市選挙管理委員会

2 回答者の構成

《年代別》

	年代	回答者 (人)	比率 (%)
1	18～19歳	15	4.4
2	20～24歳	16	4.7
3	25～29歳	7	2.0
4	30～39歳	31	9.1
5	40～49歳	49	14.3
6	50～59歳	57	16.7
7	60～69歳	55	16.1
8	70～79歳	71	20.7
9	80歳以上	40	11.7
	無回答	1	0.3
	計	342	100.0

《男女別》

	性別	回答者 (人)	比率 (%)
1	男	134	39.2
2	女	168	49.1
3	その他	3	0.9
	無回答	37	10.8
	計	342	100.0

《職業別》

	年代	回答者 (人)	比率 (%)
1	農・林・漁業	0	0.0
2	商・工業	5	1.5
3	自由業	10	2.9
4	建設業	6	1.8
5	管理職	21	6.1
6	事務職	24	7.0
7	専門技術職	34	9.9
8	現業職・販売職	67	19.6
9	主婦・主夫(専業)	80	23.4
10	学生	27	7.9
11	その他の無職	65	19.0
	無回答	3	0.9
	計	342	100.0

《 地区別 》

	居 住 地 区	回答者 (人)	比 率 (%)
1	下鶴間・つきみ野	59	17.2
2	中央林間・中央林間西	40	11.7
3	南林間・林間・鶴間(2丁目)・西鶴間(1、2、6～8丁目)	42	12.2
4	鶴間(1丁目)・西鶴間(3～5丁目)	13	3.8
5	上草柳・桜森	31	9.1
6	深見、深見西、深見東、深見台、大和東、大和南	40	11.7
7	中央・草柳(1、2丁目)、下草柳	22	6.4
8	草柳(3丁目)・柳橋・福田(1～8丁目)	15	4.4
9	上和田(上和田団地を除く)	16	4.7
10	上和田団地・下和田・いちょう団地	15	4.4
11	福田(地番)・渋谷・代官	45	13.2
	無回答	4	1.2
	計	342	100.0

《 居住年数 》

	現住所の 居住年数	回答者 (人)	比率 (%)
1	1年未満	4	1.2
2	1～5年未満	36	10.5
3	5～10年未満	48	14.0
4	10～20年未満	76	22.2
5	20～30年未満	65	19.0
6	30年以上	100	29.3
7	わからない	1	0.3
	無回答	12	3.5
	計	342	100.0

《 投票所までの所要時間 》

	投票所までの 所要時間	回答者 (人)	比 率 (%)
1	5分未満	101	29.5
2	10分未満	117	34.2
3	20分未満	52	15.2
4	20分以上	11	3.2
5	わからない	13	3.8
	無回答	48	14.1
	計	342	100.0

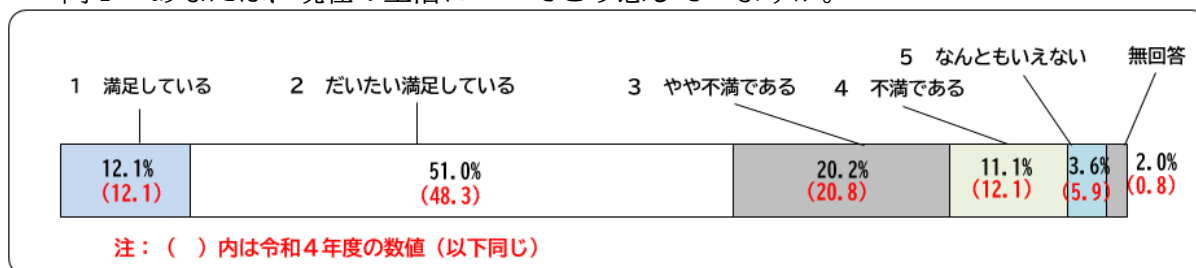
※「徒歩」による移動を想定

3 調査結果

(1) 生活・政治に関する意識

生活の満足度

問1 あなたは、現在の生活についてどう感じていますか。



調査の結果を生活満足層（1と2を回答した人）と、生活不満足層（3と4を回答した人）とに分けて、直近10年間の推移を示したものが図1です

前年と比較して、満足層は2.7ポイント増加して63.1%、また、不満足層は1.6ポイント減少して31.3%でした。

直近10年間では、満足層は50%台から緩やかに増加傾向を示し、今回は昨年と同様に60%を超えました。一方、不満足層は30%台から20%台まで減少した年がありましたが、昨年の調査と同様に今回も30%台となりました。

また、図2の男女別をみると、満足層は男性61.3%、女性64.8%で、不満足層は男性35.8%、女性28.6%と、前回の調査と同様、女性の満足の割合が高い結果となりました。

図1 生活満足度の推移

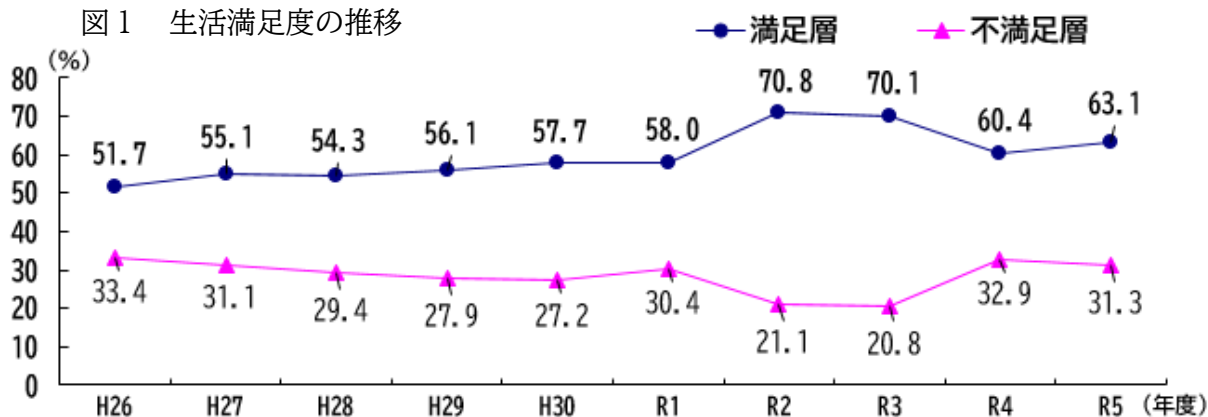
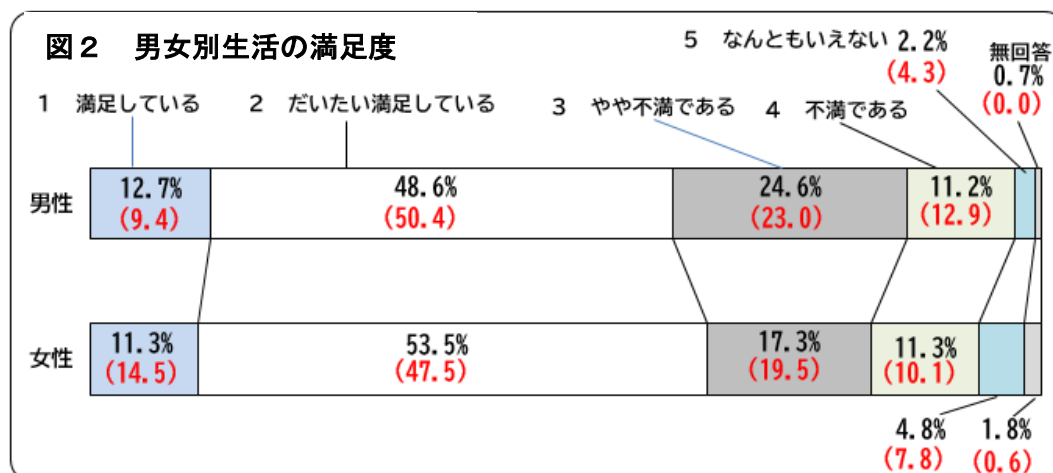


図2 男女別生活の満足度



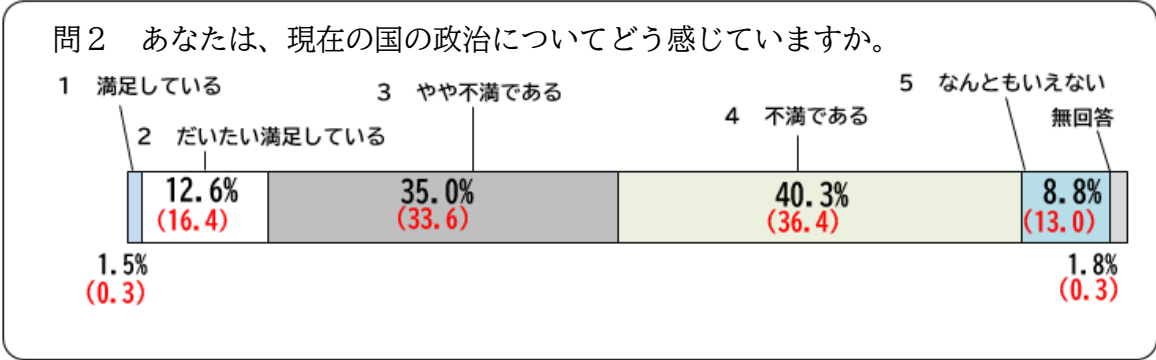
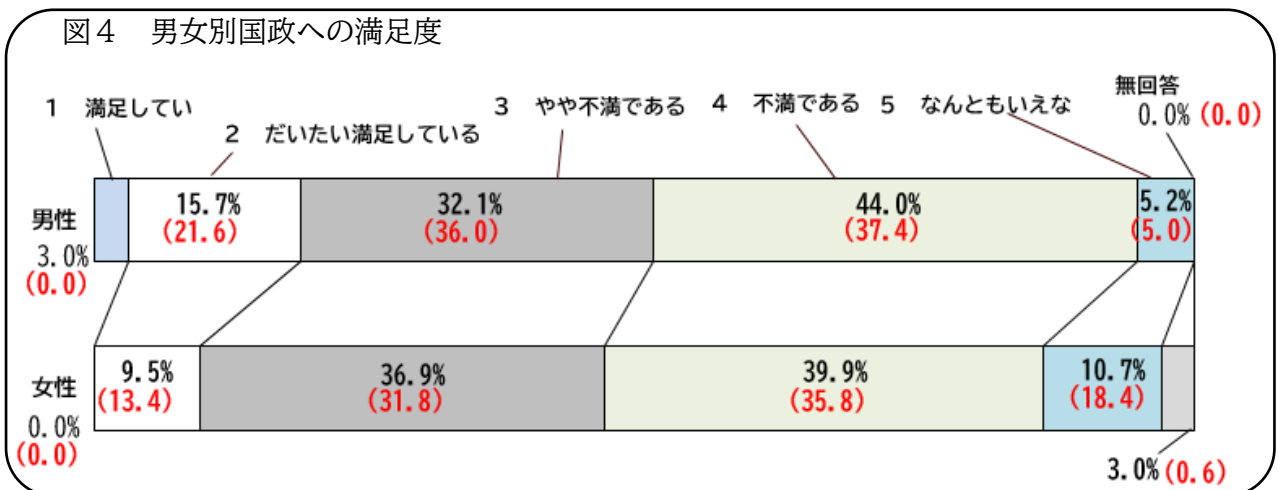
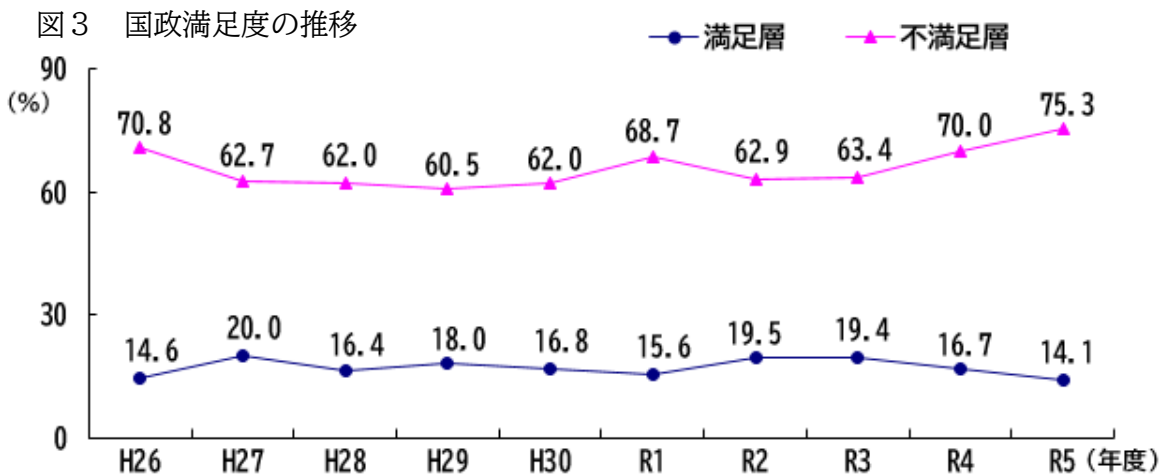


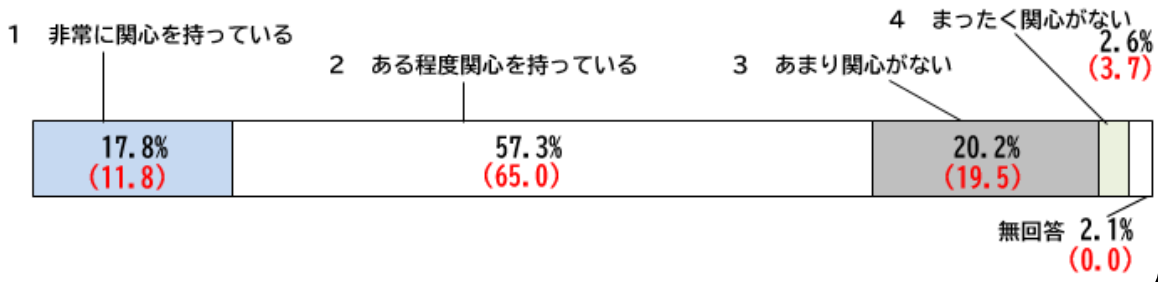
図3をみると、国政に対する満足層（1と2を回答した人）は、前年より2.6ポイント減少して14.1%であるのに対し、不満足層（3と4を回答した人）は、前年より5.3ポイント増加して75.3%と、依然として国政に対する不満が高い状況が続いています。

直近10年間を見ても、満足層は平成27年には20%に達しましたが、その後は減少し、20%を超えることはありません。また、不満足層につきましては、平成27年から60%台で推移していましたが、昨年と同様に70%を超え最も高く75.3%に達しました。

また、図4をみると男女別では、満足層は男性18.7%、女性は9.5%で、不満足層は男性76.1%、女性76.8%という結果となりました。



問3 あなたは、日頃国の政治に関心を持っていますか。



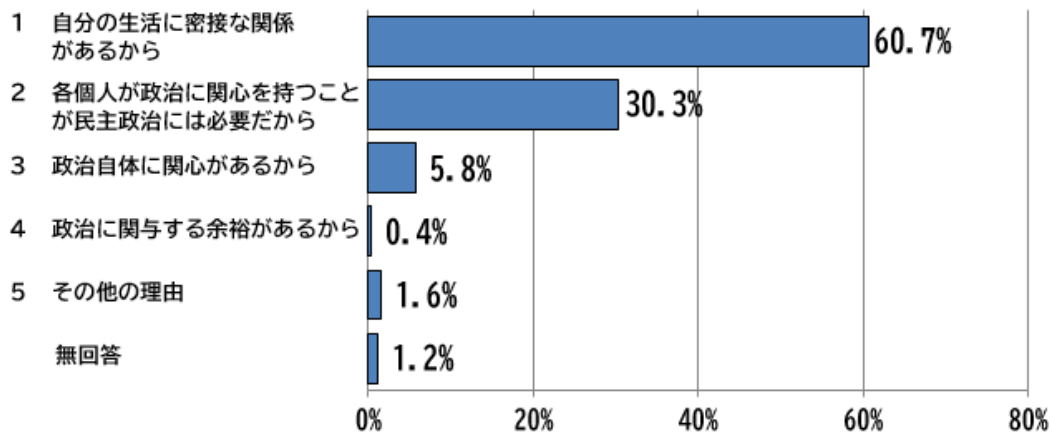
国の政治に関心を持っている人（1と2を回答した人）は75.1%と、昨年よりも1.7ポイント低くなり、関心がない人（3と4を回答した人）も22.8%と、昨年よりも0.4ポイント低くなりましたが、依然として、国政への関心が高いことが分かります。

関心層の理由としては、「自分の生活に密接な関係があるから」（60.7%）が、毎年高い結果となっています。

一方、無関心層では「個人の意見は政治に影響を与えないから」が37.2%で最も高く、続いて、「政治に関与する余裕がないから」（20.5%）と、政治への関わりを避ける結果となっています。

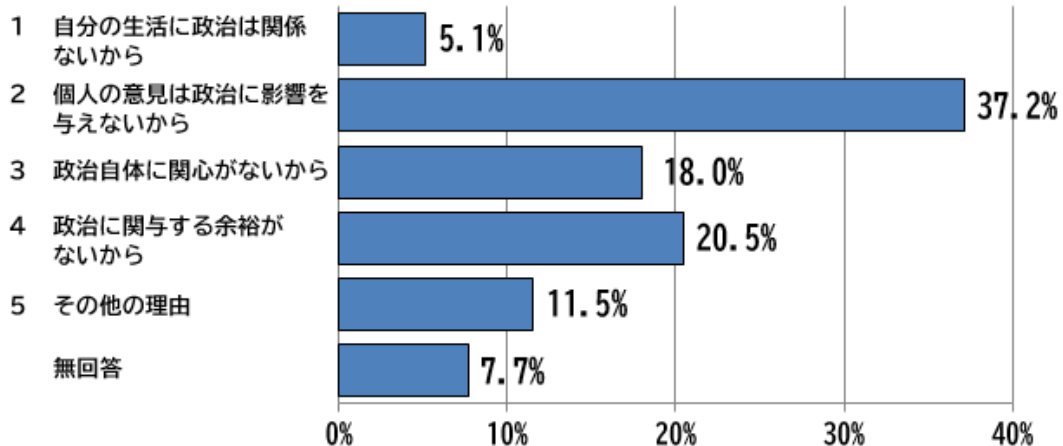
問3の1 その理由はなんですか。

【関心層】

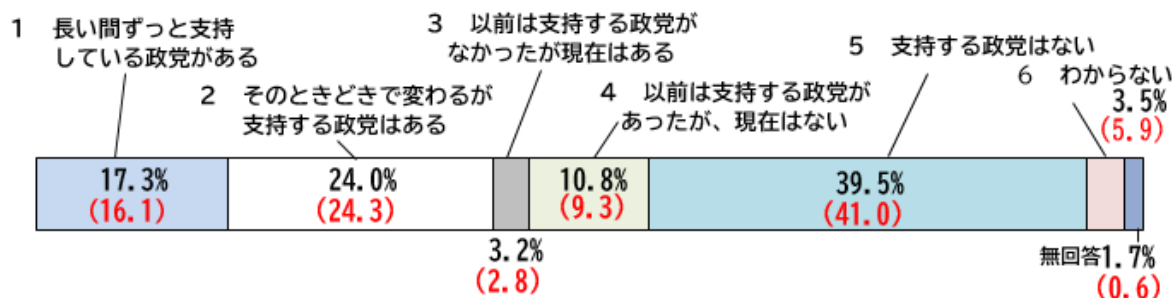


問3の2 その理由はなんですか。

【無関心層】



問4 あなたは、支持する政党がありますか。

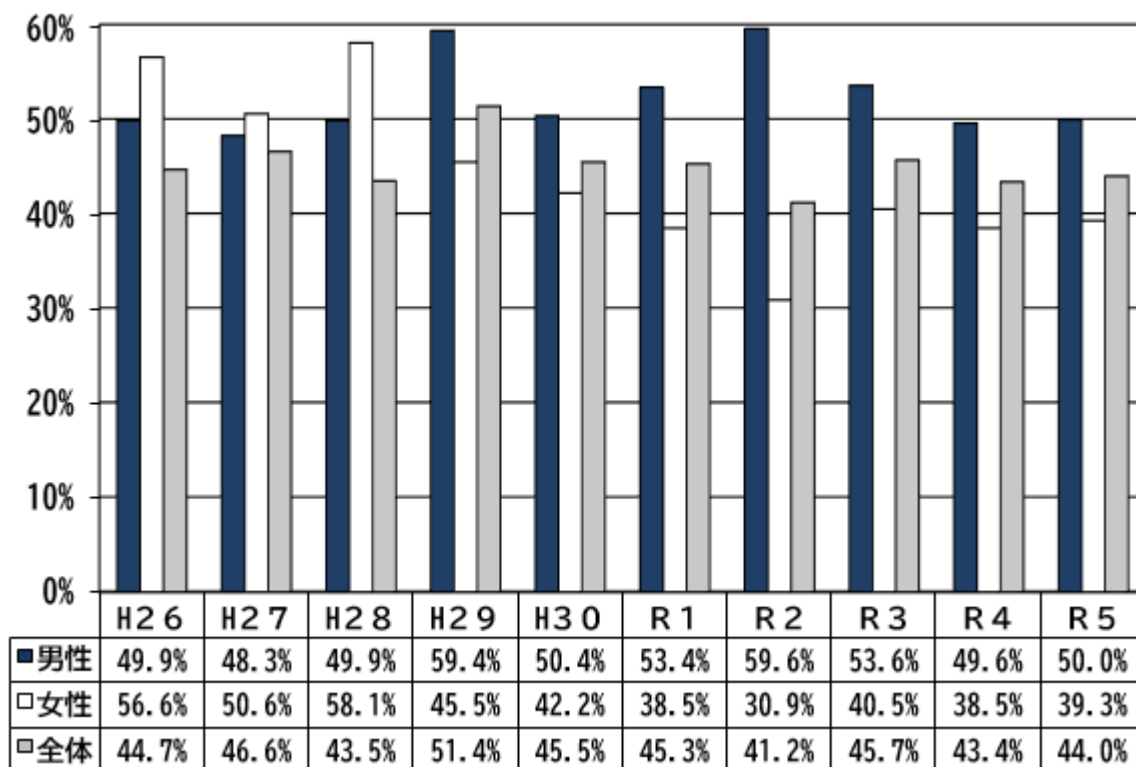


「長い間ずっと支持している政党がある」と答えた固定的政党支持者（17.3%）と、「そのときどきで変わるが支持する政党はある」（24.0%）、「以前は支持する政党がなかったが現在はある」（3.2%）と答えた流動的政党支持者を合わせた「支持政党あり」の人は、44.5%と前年に比べて1.3ポイント増加しています。

また、「以前は支持する政党があったが現在はない」あるいは「支持する政党はない」と答えた「支持政党なし」の人は、50.3%と前年と同数となりました。

図5の男女別をみますと、「支持政党あり」の男性は、概ね50%の前後で推移しており、今回は50.0%と前回に比べて0.4ポイント増加しました。女性は平成28年の58.1%から、平成29年以降、30~40%台を推移しており、今回は39.3%と前回から0.8ポイント増加しました。なお、今回の調査において、支持政党の有無は、男女間で10.7ポイントの開きが生じています。

図5 支持政党ありの推移



問5 4月23日に大和市議会議員・市長選挙が執行されましたが、あなたは投票にいきましたか。



令和5年4月に実施された大和市議会議員・市長選挙の投票率は39.93%でしたが、「投票に行った」と回答した人は69.3%と非常に高い割合となりました。これは、本アンケートに回答してくださる方は、選挙に対する意識も高い方が多いものと考えられます。

図6の男女別では「投票に行った」と答えた人は女性がやや多くなっています。

図7の年代別に見ると、新有権者の18・19歳は投票に行く傾向にあり、20歳代は投票に行かない傾向にあり、30歳代以降は選挙に行く傾向が高くなっています。

図6 男女別投票の有無

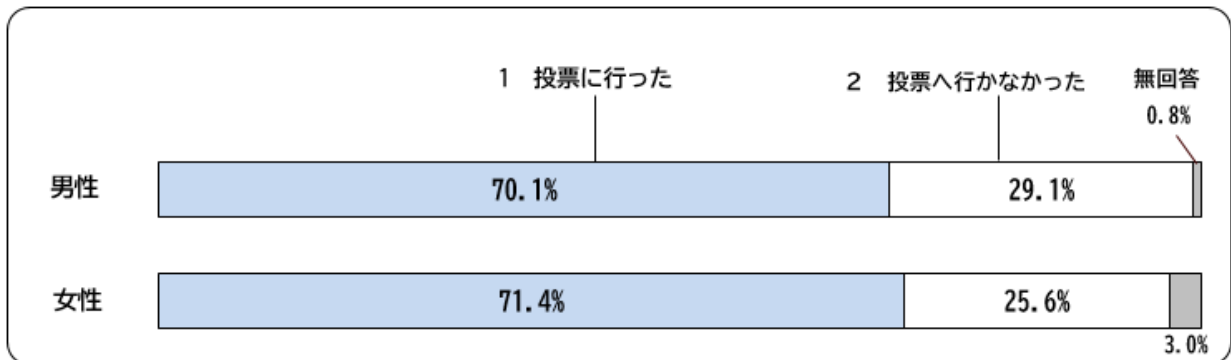
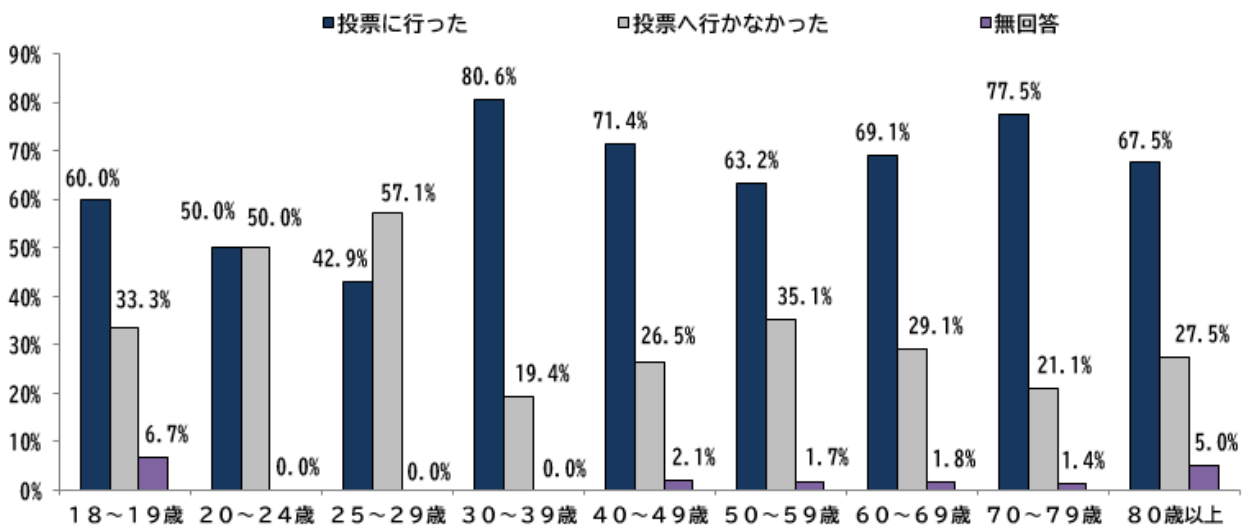
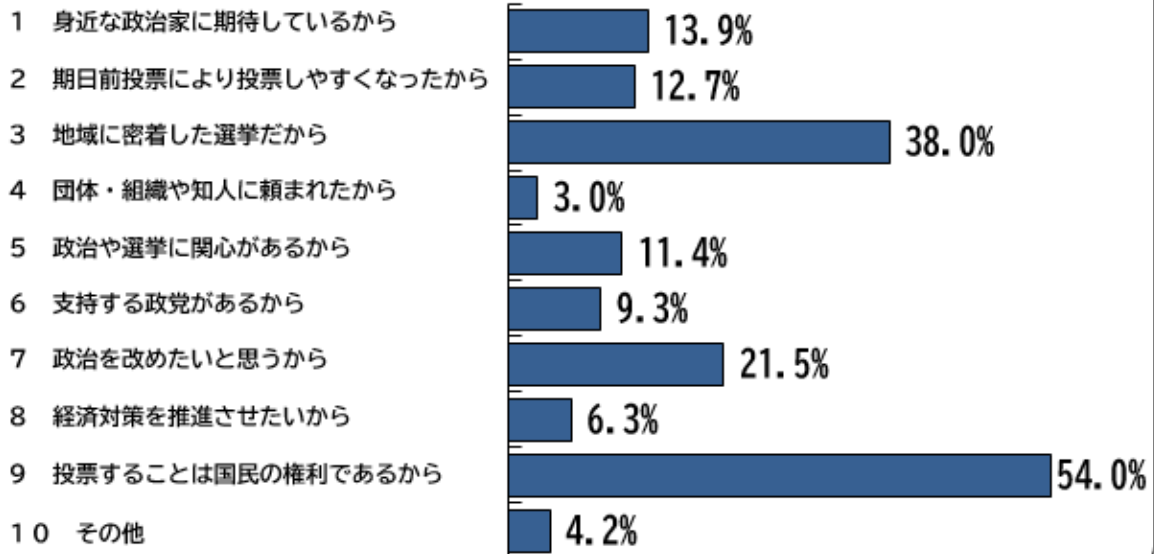


図7 年代別による投票の有無



問5の1 あなたが、投票に行った理由について、次の中から2つまで選んでください。

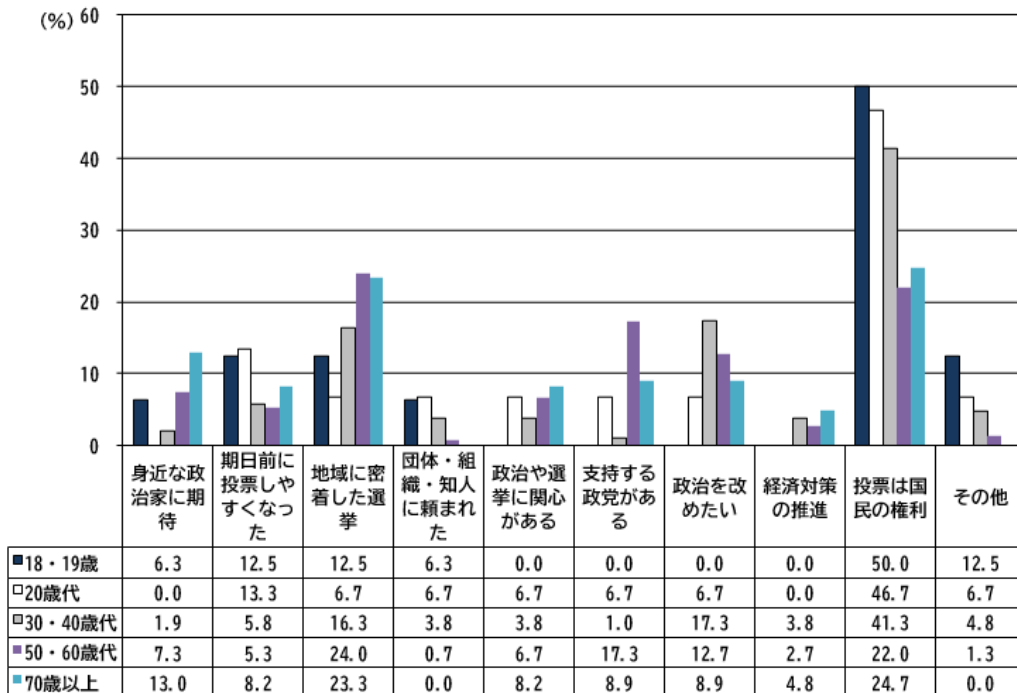


投票に行った理由としては、「投票することは国民の権利であるから」が 54.0%と最も高く、政治に対する積極的な意思よりも、権利を行使するという考えの方が多くと考えられます。

図8の年代別をみると、「投票することは国民の権利であるから」がすべての年代で高くなっていますが、18・19歳の割合が一番高い結果となりました。

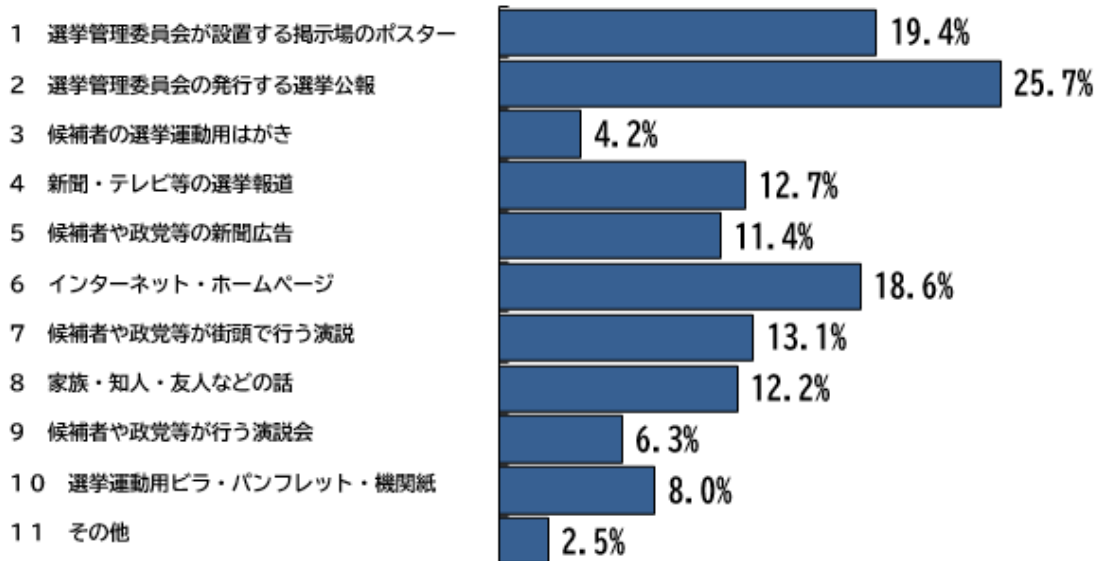
また、投票へ行った理由の2番目に多かった「地域に密着した選挙だから」は50・60歳代が高く、3番目に多かった「政治を改めたいと思うから」は30・40歳代の割合が高くなっています。

図8 投票へ行った理由（年代別） ※回答は2つまで



問5の2 あなたが投票する人を決めるときに何を参考にしましたか。

次の中から2つまで選んでください。

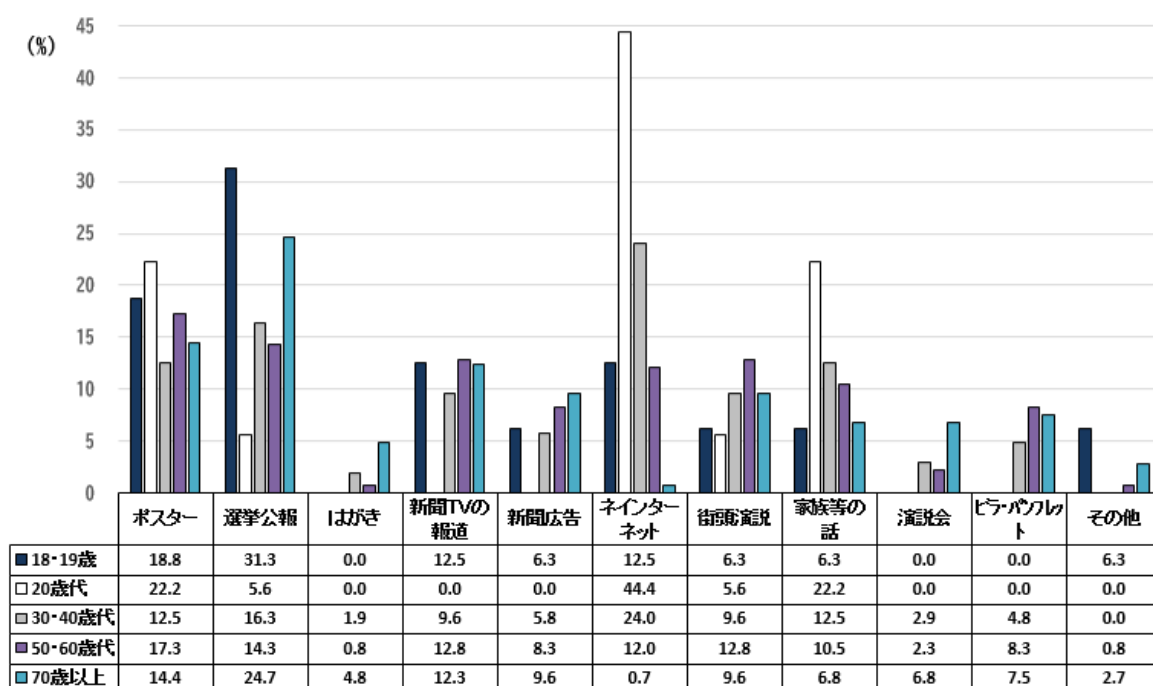


「選挙管理委員会の発行する選挙公報」(25.7%)が最多となり、次いで「選挙管理委員会が設置する掲示場のポスター」(19.4%)、「インターネット・ホームページ」(18.6%)、の順になっています。これらは、身近にある媒体であるため、情報を容易に得ることができ、政党や候補者の比較がしやすいためと思われます。

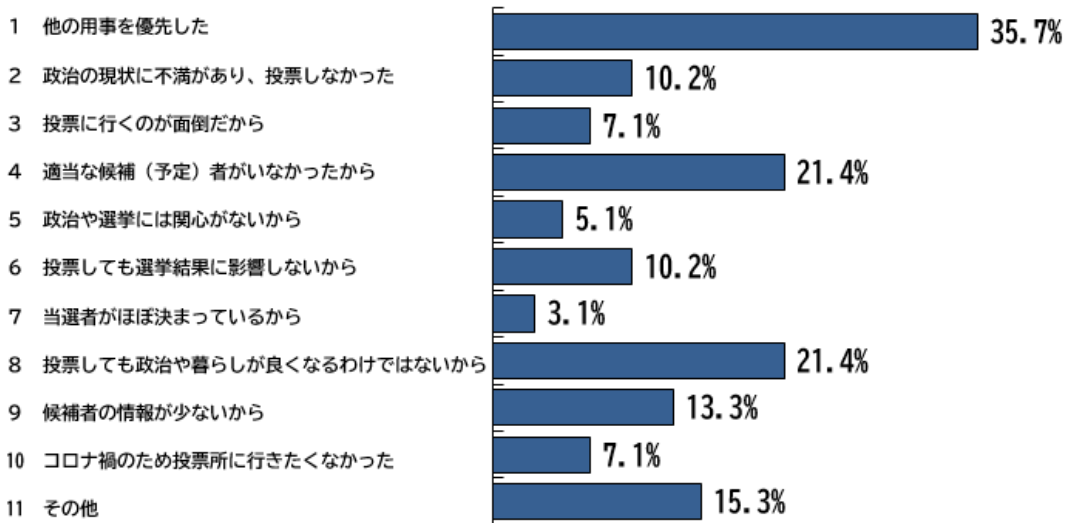
図9の年代別をみると、投票所入口にも設置していることから「選挙公報」は全年齢で割合が高くなっています。街中に見る「ポスター」は同様に全世代で割合が高くなっています。

「インターネット」については、20歳代で最多となり約半数を占めております。30・40歳代でも最多となっていることからインターネットの操作に慣れた世代で割合が高くなっています。

図9 投票の際役に立った媒体（年代別）



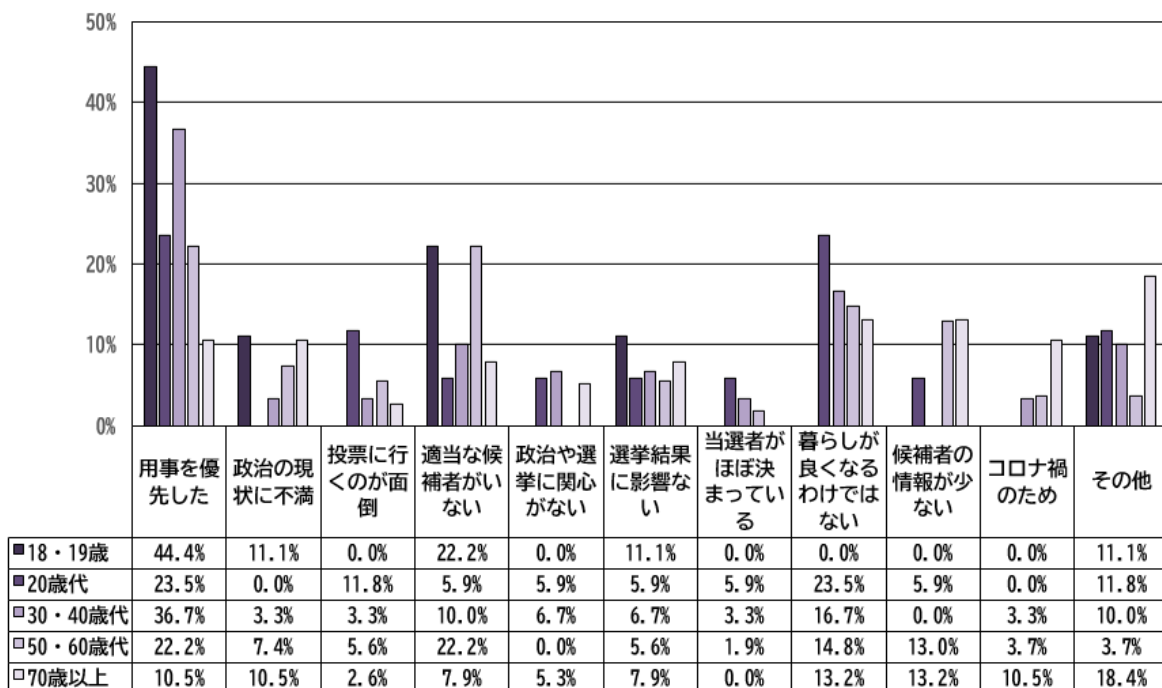
問5の3 あなたが、投票に行かなかった理由は何ですか。
次の中から2つまで選んでください。



投票に行かなかった理由として、「他の用事を優先した」（35.7%）、「適当な候補（予定）者がいなかったから」（21.4%）、「投票しても政治や暮らしが良くなるわけではないから」（21.4%）が多くなっており、政治や政治家に対するあきらめ感や積極的に関わる考えがないことが見て取れます。

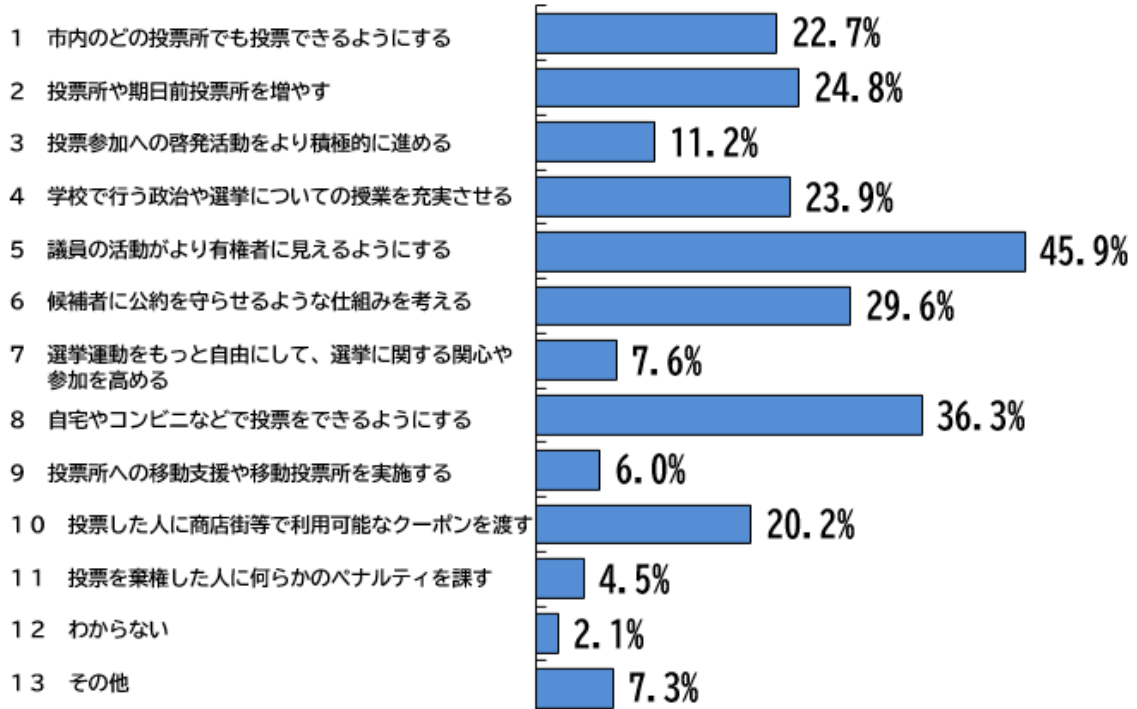
図10の年代別をみると、10歳～40歳代までの世代では、「用事を優先した」が比較的高く、投票よりも生活を優先していることが読み取れ、次点の「適当な候補者がいない」や「暮らしが良くなるわけではない」は全年齢で高く、あきらめ感が強くなっていると考えられます。

図10 投票へ行かなかった理由（年代別）



問6 投票率を上げるためにはどのような方法が良いと思いますか。

次の中から3つまで選んでください。



投票率を上げるための方法として、3つまで選択していただきました。最も多かったのは、「議員の活動がより有権者に見えるようにする」で45.9%、2番目は、「自宅やコンビニなどで投票をできるようにする」で36.3%、3番目は、「候補者に公約を守らせるような仕組みを考える」で29.6%、4番目は、「投票所や期日前投票所を増やす」で24.8%という結果になりました。

なお、昨年の調査における上位は、「議員の活動がより有権者に見えるようにする」が40.4%、「自宅やコンビニなどで投票ができるようにする」が33.6%、「学校で行う政治や選挙について授業を充実させる」が29.4%、「候補者に公約を守らせるような仕組みを考える」が27.1%、でした。「議員活動の見える化」は、毎回の調査で上位となっており、議会での活動や政治活動の内容が有権者によく伝わっていないことがうかがえます。



みんなの一票大切に！

図 11、図 12 は、問 6 の結果を年代別に分析し、まとめたものです。

「自宅、コンビニでの投票可」は、どの世代でも選択されており、投票方法の利便性向上が投票率の向上に繋がると考えている方が多いことが分かります。

なお、20 歳代以下の若年層は、「クーポン等の配布」といったインセンティブ(動機付け)があれば投票に行くと考えているようです。

図 1 1 投票率を上げるための方法 (年代別) ※3 つまで選択可

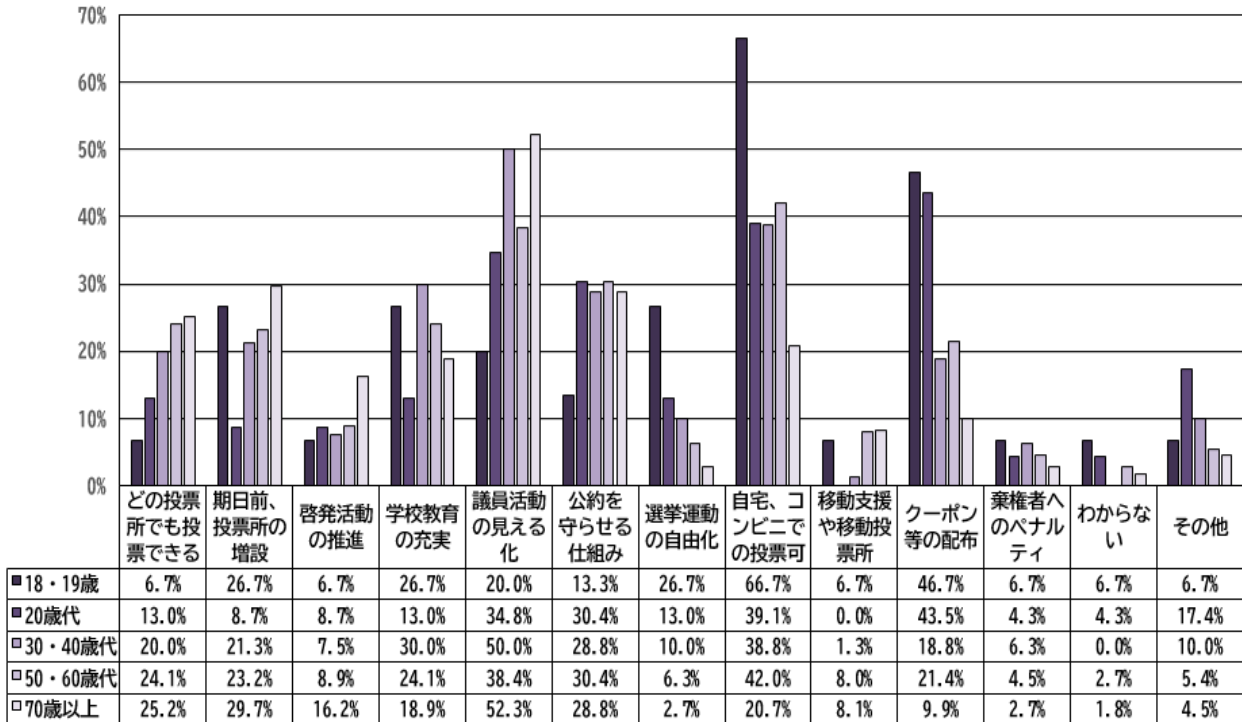
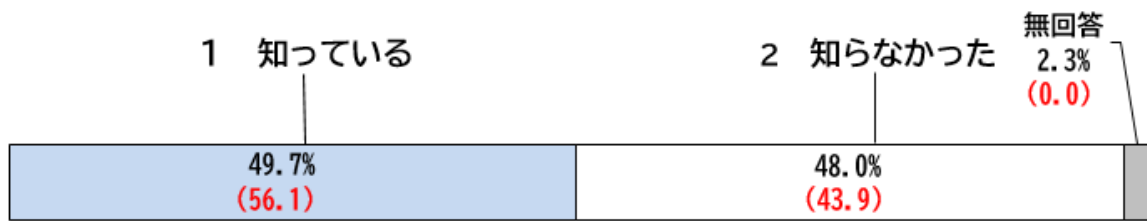


図 1 2 投票率を上げるための方法 (年代別上位 5 位) ※その他は除く

	1位：年代別割合	2位：年代別割合	3位：年代別割合	4位：年代別割合	5位：年代別割合
18・19歳	自宅、コンビニでの投票可 66.7%	クーポン等の配布 46.7%	期日前、投票所の増設 26.7%	学校教育の充実 26.7%	選挙運動の自由化 26.7%
20歳代	クーポン等の配布 43.5%	自宅、コンビニでの投票可 39.1%	議員活動の見える化 34.8%	公約を守る仕組 30.4%	どの投票所でも投票できる 13.0%
30・40歳代	議員活動の見える化 50.0%	自宅、コンビニでの投票可 38.8%	学校教育の充実 30.0%	公約を守る仕組 28.8%	期日前、投票所の増設 21.3%
50・60歳代	自宅、コンビニでの投票可 42.0%	議員活動の見える化 38.4%	公約を守る仕組 30.4%	学校教育の充実 24.1%	クーポン等の配布 21.4%
70歳代以上	議員活動の見える化 52.3%	期日前、投票所の増設 29.7%	公約を守る仕組 28.8%	どの投票所でも投票できる 25.2%	自宅、コンビニでの投票可 20.7%

問7 あなたは、期日前投票所が、4か所あることをご存知でしたか。

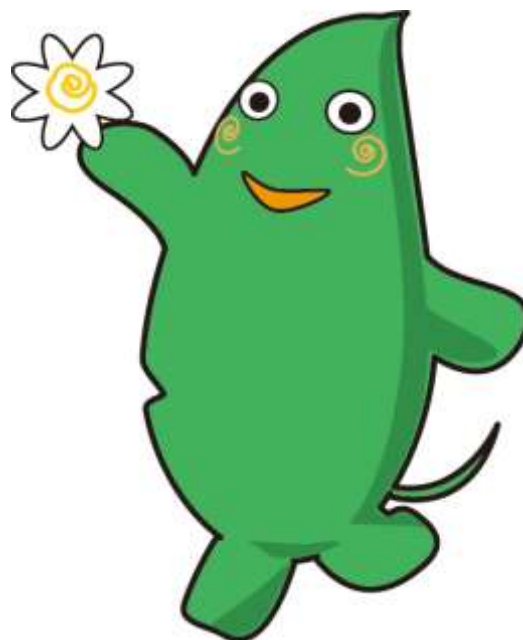


期日前投票所が4か所あることを知っていると答えたのは49.7%で、昨年から6.4ポイント減少しましたが、全体の約半数に留まりました。平成31年執行の県選挙、市選挙から、市内の期日前投票所と2か所から4か所に増設し、令和3年の衆議院選挙からは、一部会場が変わったこともあるため、認知度が下がったものと思われます。

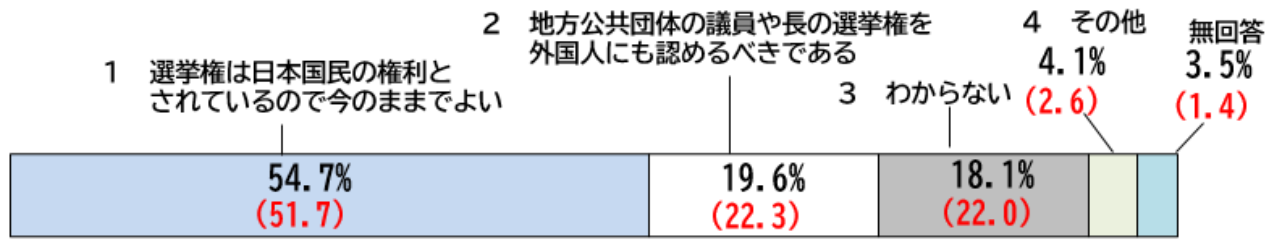
ただし、令和2年の調査では、期日前投票の制度を87.4%の人が知っていると答えており、平成16年から開始された期日前投票制度は、多くの人に認知されていることがわかります。引き続き、期日前投票所の場所、開設期間及び時間については、様々な方法で周知に努めてまいります。

【大和市内の期日前投票所】

期日前投票所（施設名）	所在地	投票時間
市役所会議室棟1階	下鶴間1-1-1	午前8時30分～午後8時
渋谷学習センター（IKOZA3階）	渋谷5-22	午前9時～午後8時
市民交流拠点ポラリス1階学習室	中央林間1-3-1	
文化創造拠点シリウス2階会議室	大和南1-8-1	



問8 国内在住の日本国籍を有していない人（外国人）は国政選挙と同様に地方公共団体の議員や長の選挙権（投票する権利）がありませんが、どう思いますか。



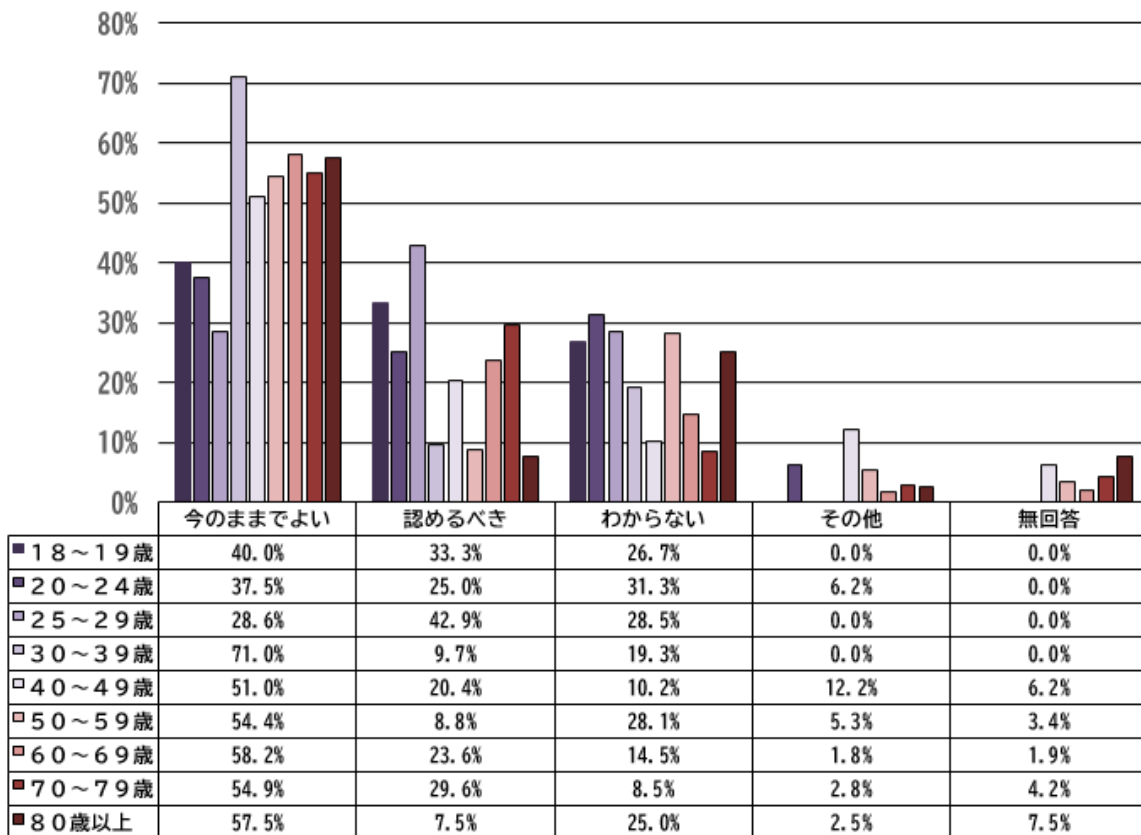
外国人に選挙権を付与することについては、「選挙権は日本国民の権利とされているので今のままでよい」が54.7%となっており、昨年よりも3.0ポイント、否定的な回答が増加しています。

また、「地方公共団体の議員や長の選挙権を外国人にも認めるべきである」と回答した人は19.6%であり、こちらは昨年と比べて2.7ポイント低い結果となりました。

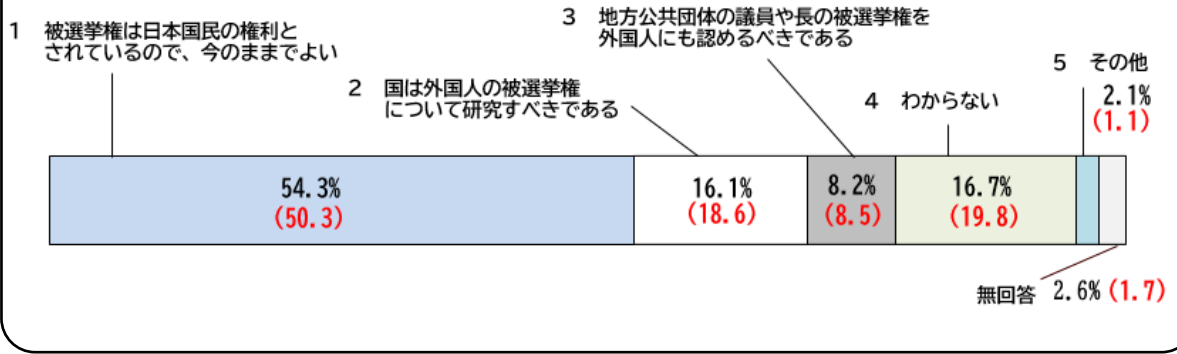
なお、「その他」の回答では、「税金を納めているなら認めるべき」、「在住期間によっては認めてもよい」が多く挙げられていました。

図13の年代別をみると、29歳以下で「認めるべきである」と答えている人の傾向が高いものの、年代が上がると参政権を認める割合が減少傾向になっています。

図13 「外国人の選挙権」に関する意識の年代別内訳



問9 また、同じように、こうした人は、地方公共団体の議員や長の被選挙権（選挙の候補者となる権利）もありませんが、どう思いますか。



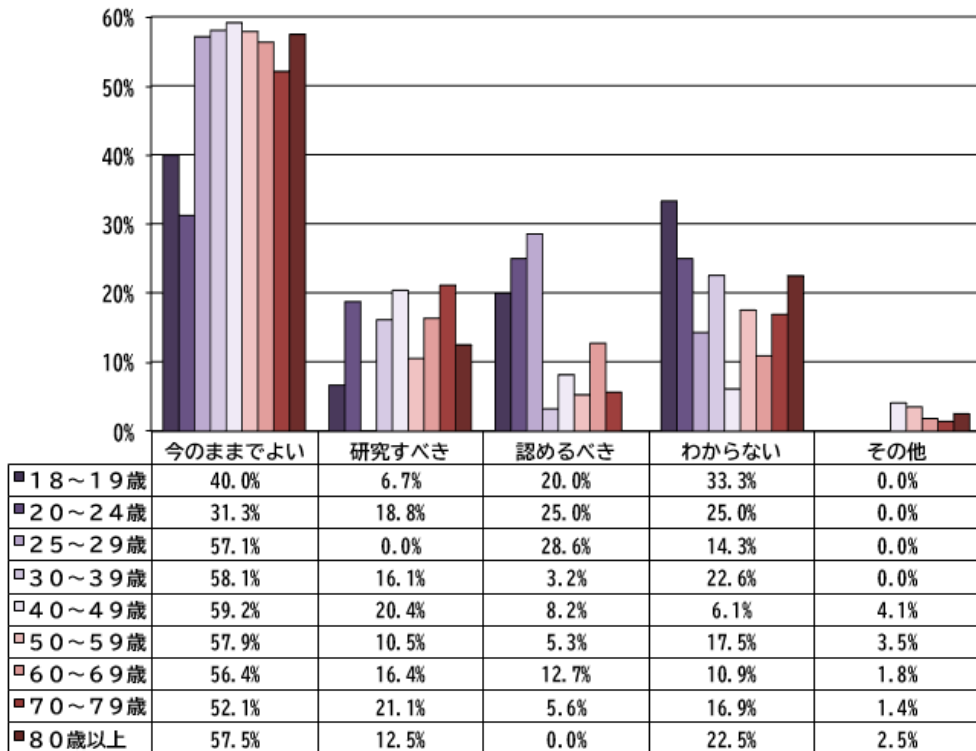
外国人の被選挙権についても、「被選挙権は日本国民の権利とされているので今のままでよい」が54.3%と最も多く、ほぼ半数の人が否定的です。

問8で「地方公共団体の議員や長の選挙権を外国人にも認めるべきである」と回答した人は19.6%いましたが、外国人の被選挙権について認める人は8.2%と低くなっており、慎重な意見が多いことがうかがえます。

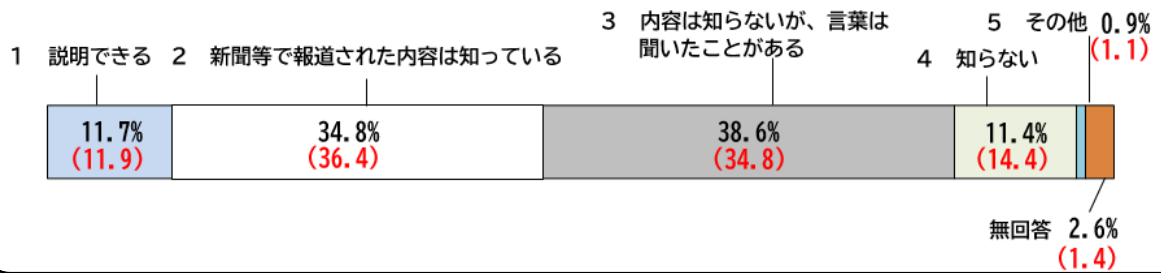
ただし、「その他」の回答の中には、「在住期間によっては認めてもよい」との意見などがありました。

また、図14の年代別をみても、「今のままでよい」と回答した人の割合が、すべての年代で高くなっています。最も若い19歳以下においても、図13で選挙権については4割近くが「認めるべきである」と答えている一方、図14で「被選挙権を認めるべきである」の回答は2割程度となっています。

図14 「外国人の被選挙権」に関する意識の年代別内訳



問10 憲法改正のためには、国民が賛否を投票（国民投票制度）することが必要となりますが、この制度を知っていますか。

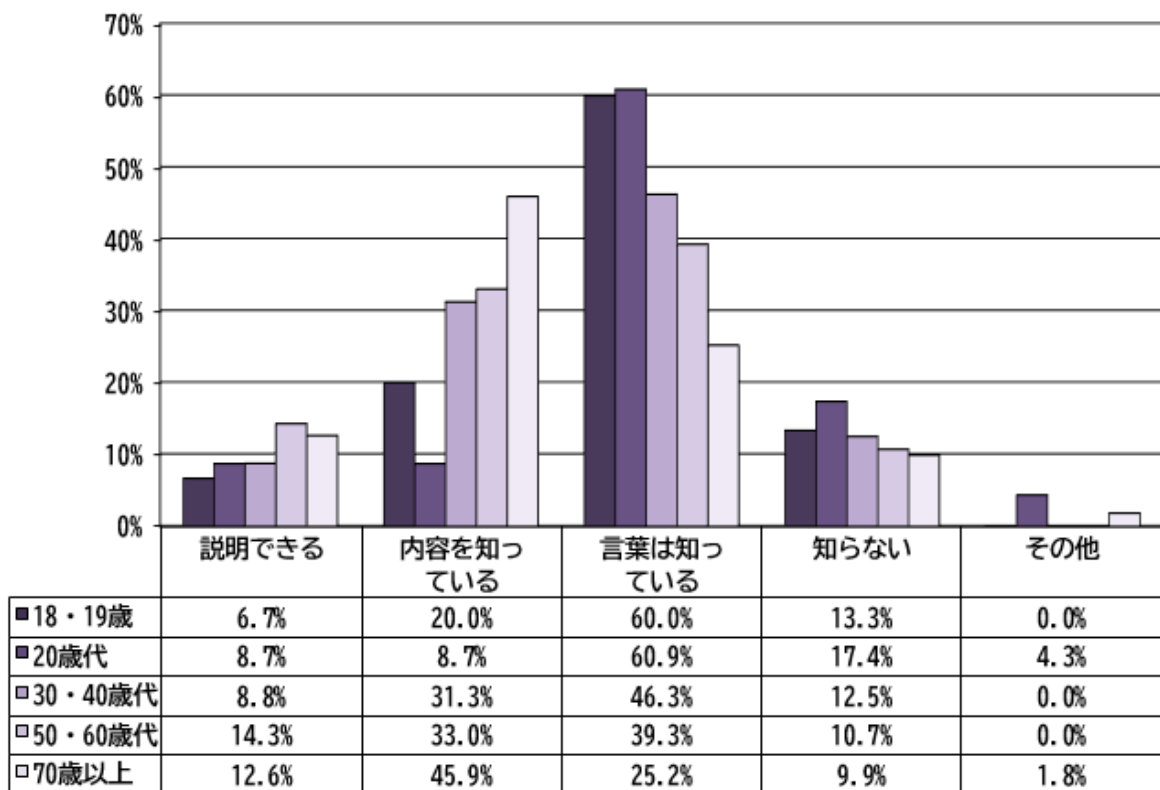


憲法改正が政治の話題となる機会が増えているから、憲法改正に必要な手続きである国民投票制度の認知状況について質問をしました。

制度の内容まで「説明できる」と回答した方は11.7%でしたが、「新聞等で報道された内容は知っている」（34.8%）と「内容は知らないが、言葉は聞いたことがある」（38.6%）を合わせると85.1%となり、「国民投票」という言葉については広く認知されていることが確認できました。

図15の年代別をみると、若い世代は半数近くが「言葉は知っている」と答え、70歳代以上では、4割程度が「内容を知っている」と答えています。

図15 国民投票制度の認知状況（年代別）



(5) 意見・感想の集計

自由意見の集計 (104 件)

意識調査にご協力をいただいた方で、意見・感想をご記入いただいたものについて、分類集計いたしました。

1. 政治家（政党）に関する意見 (36 件)

- ①政治家の不正や無責任等に対する不信 (5 件)
- ②投票したいと思う政治家（政党）がない (1 件)
- ③政治家（政党）の政治に対する姿勢への不満 (5 件)
- ④議員・候補者の意見や活動が分かりにくい (14 件)
- ⑤議員の高齢化について (4 件)
- ⑥議員定数や議員報酬について (5 件)
- ⑦その他 (2 件)

2. 政治に関する意見 (20 件)

- ①現状の政治に不満がある（不祥事等） (15 件)
- ②今後の政治への願い等 (3 件)
- ③その他 (2 件)

3. 選挙制度に関する意見 (5 件)

- ①今の時代に合致していな公職選挙法への批判 (2 件)
- ②日本国籍と選挙権（含、外国人参政権）について (3 件)

4. 主権者教育に関する意見 (4 件)

- ①主権者教育の重要性 (4 件)

5. 投票環境・投票率の向上に関する意見 (17 件)

- ①インターネット等の投票推進に関する意見 (4 件)
- ②投票率向上のための提案・意見 (11 件)
- ③その他 (2 件)

6. その他 (22 件)

- ①日本の将来についての意見 (5 件)
- ②市政・市議会に対する意見 (5 件)
- ③このアンケート調査について (5 件)
- ④政治や選挙に関心がある (1 件)
- ⑤政治や選挙の無関心 (1 件)
- ⑥その他 (5 件)

4 調 査 票

令和5年度

政治と選挙についての意識調査

大和市明るい選挙推進協議会
大和市選挙管理委員会事務局
電話：046(260)5542
(電話受付時間：月曜日～金曜日
※土、日、祝日を除く
9:00～12:00、13:00～17:00)

回収順番号

《記入及び郵送についてお願い》

- 必ずご本人が記入してください。
- 回答は、あてはまる番号に○をつけてください。
- 設問は上から順に回答してください。また矢印や指示がある場合は、それに従ってください。
- 記入が終わりましたら、お手数ですが同封の返信用封筒でご返送ください。
- 11月30日(木)まで**にご投函くださいますよう、ご協力をお願い申し上げます。

■ 最初にあなた自身のことについてお聞かせください。

性 別	1 男性	2 女性	3 その他(答えたくない)	
年 代	1 18～19歳	2 20～24歳	3 25～29歳	4 30～39歳
	5 40～49歳	6 50～59歳	7 60～69歳	8 70～79歳
	9 80歳以上			
職 業	(自営業、家族従事者)		2 商・工業(商店、個人工場経営者など)	
	1 農・林・漁業	3 自由業(開業医、弁護士、芸術家など)		4 建設業
	(勤め人)		5 管理職(企業や公務員の課長職以上)	6 事務職(一般事務、経理など)
7 専門技術職(医師、看護師、技術者、教師、保育士など)		8 現業職・販売職(作業的な仕事、販売・サービスの仕事、パート的な仕事など)		
(無職)		10 学生		
9 主婦・主夫(専業)		11 その他の無職		
居住地区	1 下鶴間・つきみ野	2 中央林間・中央林間西		
	3 南林間・林間・鶴間(2丁目)・西鶴間(1丁目、2丁目、6丁目～8丁目)	4 鶴間(1丁目)・西鶴間(3丁目～5丁目)		
	5 上草柳・桜森	6 深見・深見西・深見東・深見台・大和東・大和南		
	7 中央・草柳(1丁目、2丁目)・下草柳	8 草柳(3丁目)・柳橋・福田(1丁目～8丁目)		
	9 上和田(上和田団地を除く)	10 上和田団地・下和田・いちょう団地		
	11 福田(地番)・渋谷・代官			
現住所の居住年数	1 1年未満	2 1～5年未満	3 5～10年未満	4 10～20年未満
	5 20～30年未満	6 30年以上	7 わからない	
投票所までの所要時間	1 5分未満	2 10分未満	3 20分未満	4 20分以上
	5 わからない	※「徒歩」による移動を想定した場合の時間数で番号を選択してください。		

問1 あなたは、現在の生活についてどう感じていますか。次の中から1つ選んでください。

- 満足している
- たいがい満足している
- やや不満である
- 不満である
- なんともいえない

問2 あなたは、現在の国の政治についてどう感じていますか。次の中から1つ選んでください。

- 満足している
- たいがい満足している
- やや不満である
- 不満である
- なんともいえない

問3 あなたは、日頃国の政治に関心をもっていますか。次の中から1つ選んでください。

- 非常に関心をもっている
 - ある程度関心をもっている
 - あまり関心が低い
 - まったく関心が低い
- (1、2と回答された方は 問3の1へ) (3、4と回答された方は 問3の2へ)

(問3の1) その理由は何ですか。次の中から1つ選んでください。

- 自分の生活に密接な関係があるから
- 各個人が政治に関心をもつことが民主政治には必要だから
- 政治自体に興味があるから
- 政治に関与する余裕があるから
- その他(具体的に：)

(問3の2) その理由は何ですか。次の中から1つ選んでください。

- 自分の生活に政治は関係ないから
- 個人の意見は政治に影響を与えないから
- 政治自体に興味がないから
- 政治に関与する余裕がないから
- その他(具体的に：)

問4 あなたは、支持する政党がありますか。次の中から1つ選んでください。

- 長い間ずっと支持している政党がある
- そのときどきで変わるが、支持する政党はある
- 以前は支持する政党がなかったが、現在はある
- 以前は支持する政党があったが、現在はない
- 支持する政党はない
- わからない

(裏面にも設問がありますので、ご協力をお願いいたします。)

問 5 令和5年4月23日に大和市議会議員・市長選挙が執行されましたが、あなたは投票に行きましたか。

1. 投票に行った（期日前・不在者投票含む）

2. 投票に行かなかった

(↓ 問5の1、2へ)

(→ 問5の3へ)

(問5の1) あなたが、投票に行った理由について、次の中から2つまで選んでください。

- | | |
|---------------------|-----------------------|
| 1 身近な政治家に期待しているから | 2 期日前投票により投票しやすくなったから |
| 3 地域に密着した選挙だから | 4 団体・組織や知人に頼まれたから |
| 5 政治や選挙に関心があるから | 6 支持する政党があるから |
| 7 政治を改めたいと思うから | 8 経済対策を推進させたいから |
| 9 投票することは国民の権利であるから | 10 その他 () |

(問5の2) あなたが、投票する人を決めるときに何を参考にしましたか。次の中から2つまで選んでください。

- | | |
|------------------------|-----------------------|
| 1 選挙管理委員会が設置する掲示場のポスター | 2 選挙管理委員会の発行する選挙公報 |
| 3 候補者の選挙運動用はがき | 4 新聞・テレビ等の選挙報道 |
| 5 候補者や政党等の新聞広告 | 6 インターネット・ホームページ |
| 7 候補者や政党等が街頭で行う演説 | 8 家族・知人・友人などの話 |
| 9 候補者や政党等が行う演説会 | 10 選挙運動用ビラ・パンフレット・機関紙 |
| 11 その他 () | |

(問5の3) あなたが、投票に行かなかった理由は何ですか。次の中から2つまで選んでください。

- | | |
|------------------|--------------------------|
| 1 他の用事を優先したから | 2 政治の現状に不満があり、投票しなかった |
| 3 投票に行くのが面倒だから | 4 適当な候補（予定）者がいないから |
| 5 政治や選挙には関心がないから | 6 投票しても選挙結果に影響しないから |
| 7 当選者がほぼ決まっているから | 8 投票しても政治や暮らしが良くなるから |
| 9 候補者の情報が少ないから | 10 コロナ禍のため投票所に行きたくなかったから |
| 11 その他 () | |

(問6へ)

(問6へ)

問 6 投票率を上げるためにはどのような方法が良いと思いますか。次の中からあなたの考えに近いものを3つまで選んでください。

- | | |
|---------------------------------|----------------------------|
| 1 市内のどの投票所でも投票できるようにする | 2 投票所や期日前投票所の場を増やす |
| 3 投票参加への啓発活動をより積極的に進める | 4 学校で行う政治や選挙についての授業を充実させる |
| 5 議員の活動がより有権者に見えるようにする | 6 候補者に公約を守るような仕組みを考える |
| 7 選挙運動をもっと自由にして、選挙に関する関心や参加を高める | 8 自宅やコンビニなどで投票をできるようにする |
| 9 投票所への移動支援や移動投票所を実施する | 10 投票した人に商店街等で利用可能なクーポンを渡す |
| 11 投票を棄権した人に何らかのペナルティを課す | 12 わからない |
| 13 その他（具体的に：) | |

問 7 あなたは期日前投票所が、4か所あることをご存知でしたか。 《①大和市役所、②渋谷学習センター（IKOZA）、③シリウス、④ポラリス》

- 1 知っている
- 2 知らなかった (※当日に投票所に行けない方は、午後8時まで、どこの期日前投票所でも投票することができますのでご利用ください)

問 8 国内在住の日本国籍を有していない人（外国人）は、国政選挙（衆・参議院選挙）と同様に地方公共団体の議員や長の選挙権（投票する権利）がありませんが、どう思いますか。次の中から1つ選んでください。

- 1 選挙権は日本国民の権利とされているので、今のままで良い
- 2 地方公共団体の議員や長の選挙権を外国人にも認めるべきである
- 3 わからない
- 4 その他（具体的に：)

問 9 また同じように、こうした人は、地方公共団体の議員や長の被選挙権（候補者となる権利）もありませんが、どう思いますか。次の中から1つ選んでください。

- 1 被選挙権は日本国民の権利とされているので、今のままで良い
- 2 国は外国人の被選挙権について研究すべきである
- 3 地方公共団体の議員や長の被選挙権を外国人にも認めるべきである
- 4 わからない
- 5 その他（具体的に：)

問 10 憲法改正のためには、国民が賛否を投票（国民投票制度）することが必要となりますが、あなたはこの制度をご存知ですか。次の中から1つ選んでください。

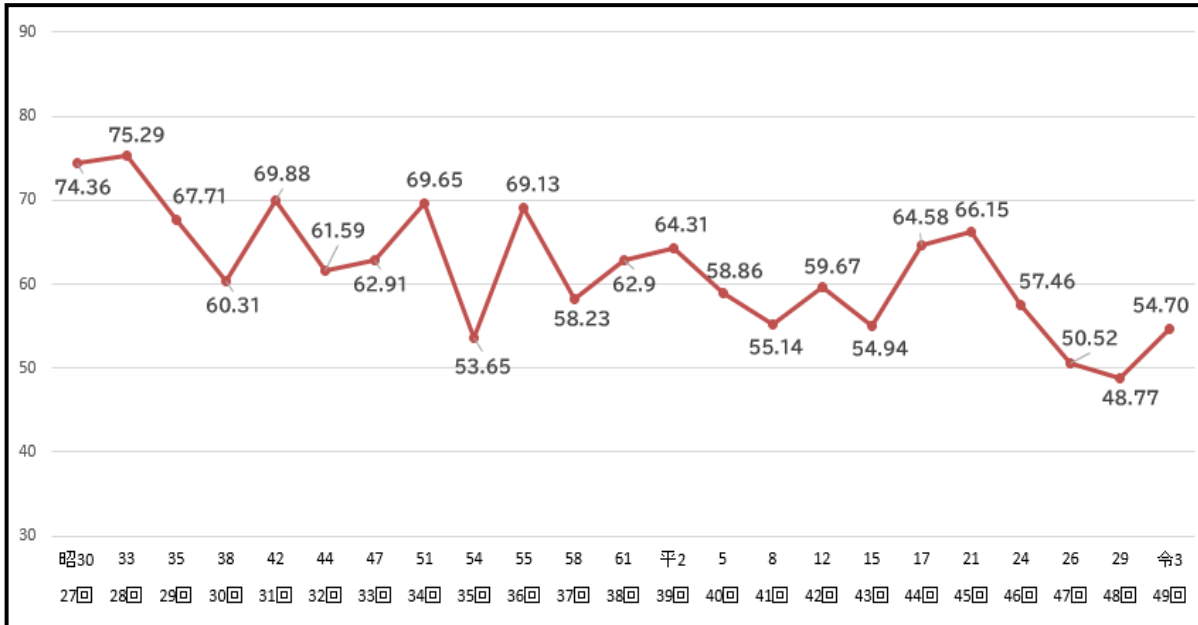
- 1 知人等に説明できる程度は知っている
- 2 新聞等で報道された内容は知っている
- 3 内容は知らないが「国民投票（制度）」という言葉は聞いたことがある
- 4 知らない
- 5 その他（具体的に：)

● 自由意見欄 : 政治や選挙に関して日頃から感じていること、またはこのアンケートに回答して感じたこと等、自由にご記入ください。

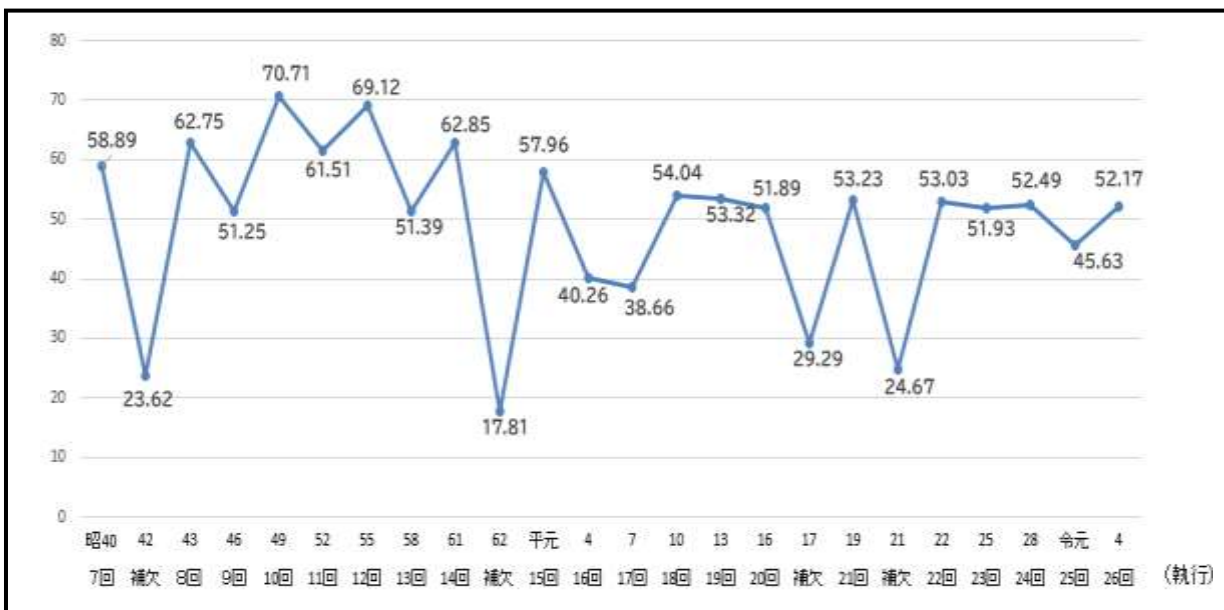
ご協力ありがとうございました。

5 資 料

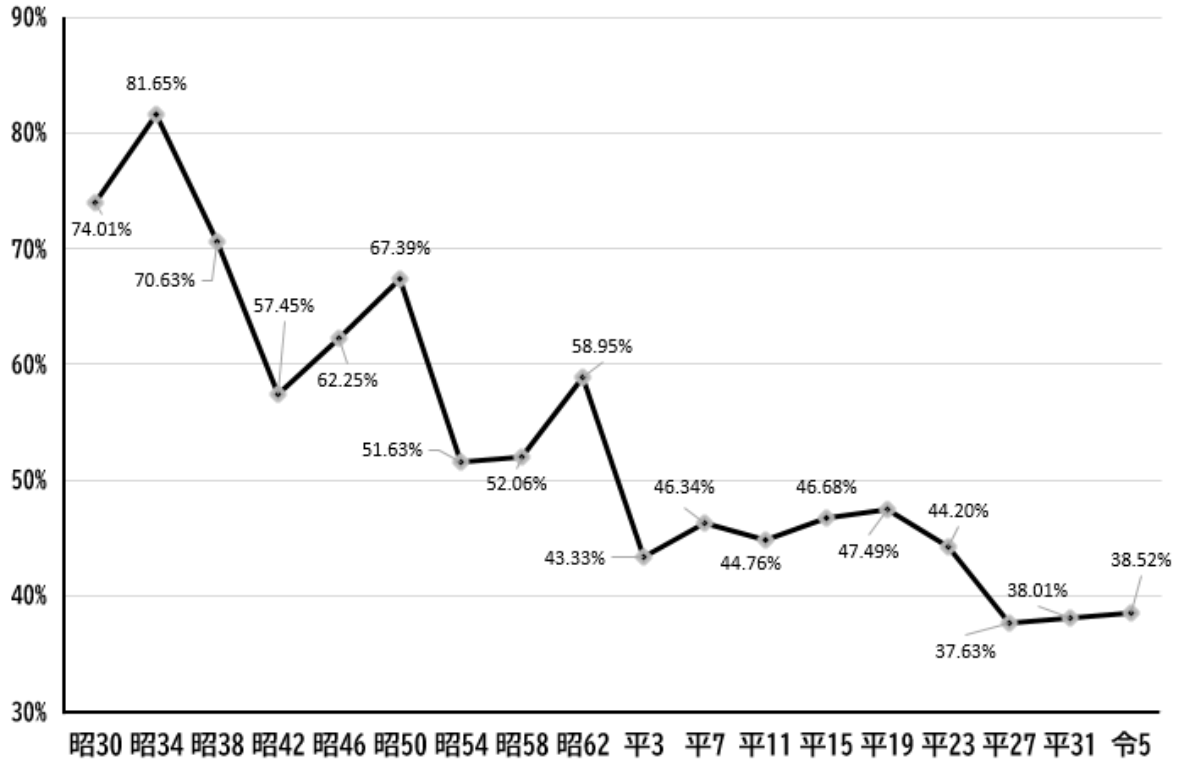
(1) 衆議院小選挙区選出議員選挙投票率の推移（大和市）



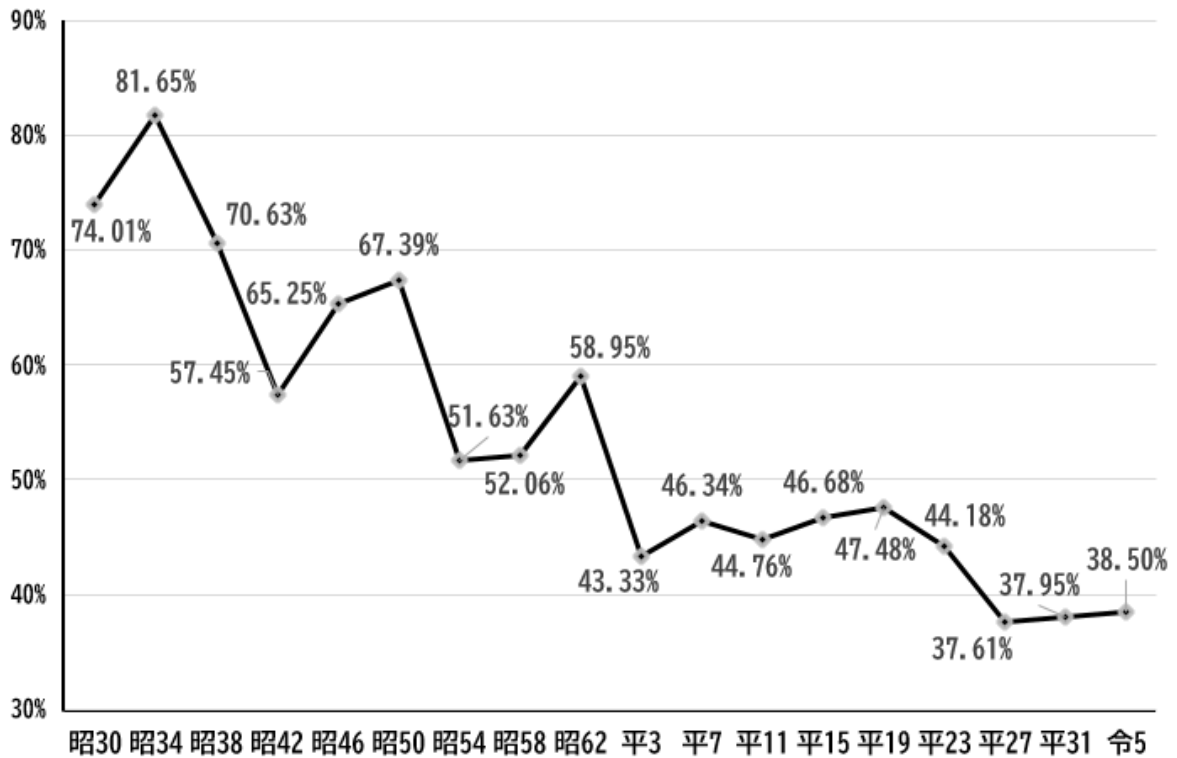
(2) 参議院神奈川県選出議員選挙投票率の推移（大和市）



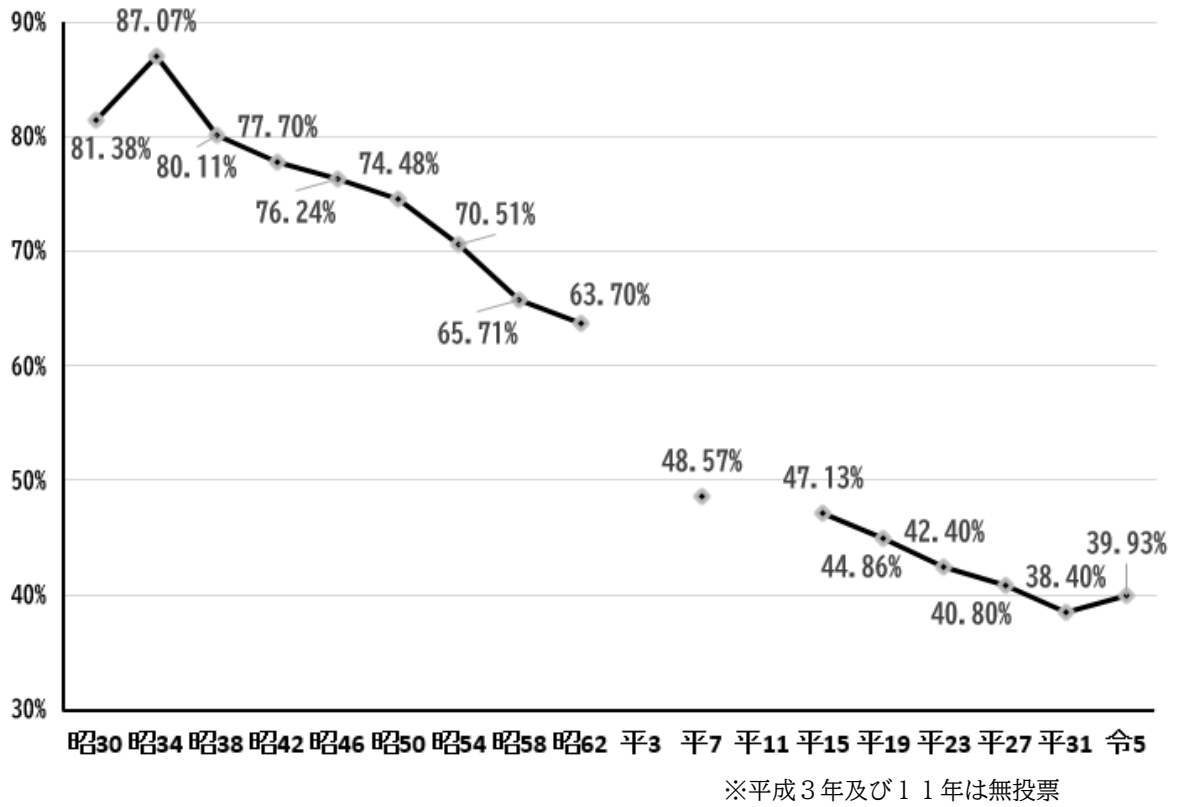
(3) 神奈川県知事選挙投票率の推移 (大和市)



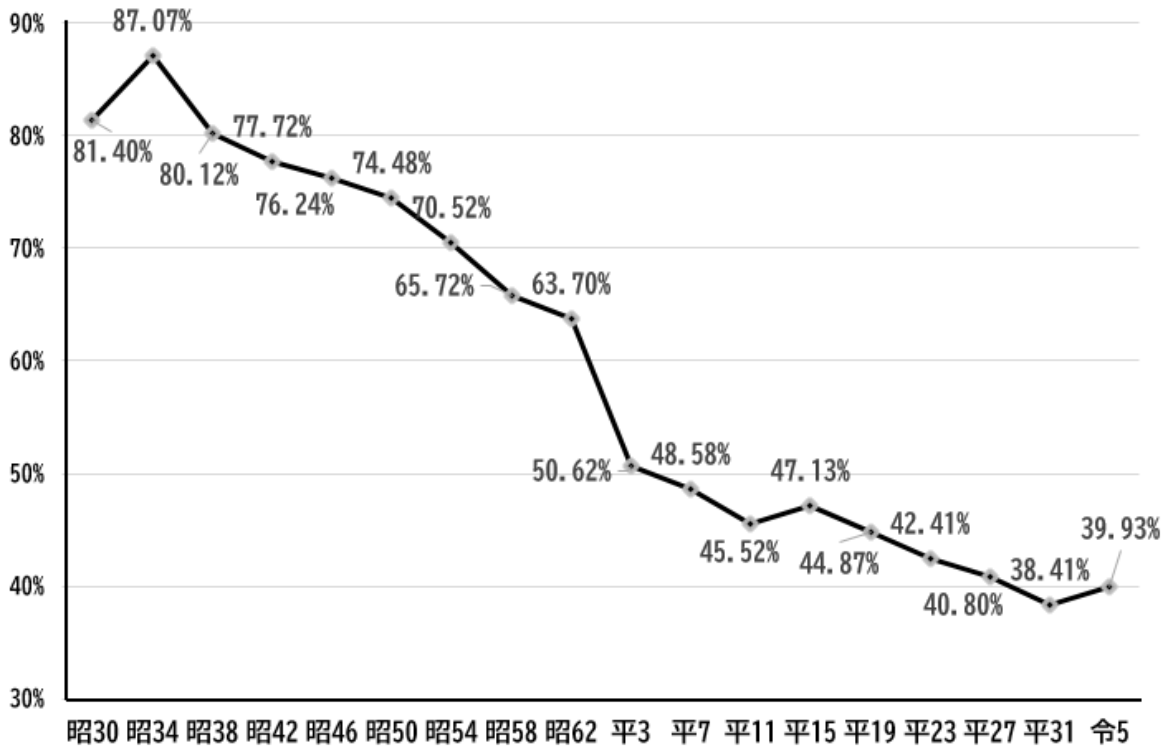
(4) 神奈川県議会議員選挙投票率の推移 (大和市)



(5) 大和市長選挙投票率の推移



(6) 大和市議会議員選挙投票率の推移



☆ みんなの一票大切に！ ☆



明るい選挙キャラクター 「選挙のめいすいくん」